平成28年２月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月13日

上場会社名　　株式会社 ゼットン　　上場取引所　名
コード番号　　3057　　ＵＲＬ　http://www.zetton.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）稲本健一
問合せ先責任者　（役職名）財務経理部長　　（氏名）森充　　ＴＥＬ　03-6416-3120

四半期報告書提出予定日　　平成27年10月13日
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無　　：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成28年２月期第２四半期の連結業績（平成27年３月１日～平成27年８月31日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年２月期第２四半期	5,780	2.8	93	△76.7	175	△58.8	70	△72.5
27年２月期第２四半期	5,622	20.3	401	11.4	425	15.1	256	27.8

（注）包括利益　28年２月期第２四半期　32百万円（△86.6%）　27年２月期第２四半期　244百万円（14.6%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年２月期第２四半期	16.41	―
27年２月期第２四半期	59.61	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年２月期第２四半期	4,865	1,187	24.4	275.76
27年２月期	3,702	1,194	32.2	277.17

（参考）自己資本　28年２月期第２四半期　1,187百万円　27年２月期　1,194百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年２月期	―	0.00	―	9.00	9.00
28年２月期	―	0.00			
28年２月期（予想）			―	9.00	9.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．平成28年２月期の連結業績予想（平成27年３月１日～平成28年２月29日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	4.0	△90	―	25	△91.8	△245	―	△56.87

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規　ー社　（社名）、除外　ー社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年２月期２Ｑ	4,307,900株	27年２月期	4,307,900株
②　期末自己株式数	28年２月期２Ｑ	82株	27年２月期	43株
③　期中平均株式数（四半期累計）	28年２月期２Ｑ	4,307,851株	27年２月期２Ｑ	4,307,900株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きを実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間（平成27年３月１日～平成27年８月31日）の連結業績は、売上高5,780百万円（前年同期比2.8％増）、営業利益93百万円（同76.7％減）、経常利益175百万円（同58.8％減）、四半期純利益70百万円（同72.5％減）と増収減益となりました。

当期間において当社グループは、アロハテーブル事業において７店舗、ダイニング事業において２店舗、ビアガーデン事業において２店舗出店し、合計11店舗の新規出店を行いました。これにより当第２四半期連結累計期間末現在の店舗数は、直営店81店舗（国内78店舗（ビアガーデン21店舗含む）、海外３店舗）、FC店６店舗の合計87店舗となっております。

売上高については、ビアガーデン事業及びアロハテーブル事業において、台風等の悪天候により、雨天による閉店日数が当社想定を大幅に上回り、当初予想に達しませんでした。また、ブライダル事業においては、東海地区を中心としたブライダルマーケットへの大幅な施設増加により、婚礼の取扱組数が減少し、収益が低下いたしました。これらによる影響から既存店売上高が91.6％となったものの、新規店舗の出店による店舗数の増加を要因に増収となりました。

営業利益については、ビアガーデン及び屋外店舗における夏季の天候不順の影響による減収、ブライダル事業の減収並びに新規店舗の出店費用を要因に大幅な減益となりました。

なお、当第１四半期連結累計期間より、当社グループの事業は単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,162百万円増加の4,865百万円となりました。これは主に、有形固定資産が合計424百万円、売掛金が392百万円、現金及び預金が304百万円とそれぞれ増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,168百万円増加の3,677百万円となりました。これは主に、長期借入金が461百万円、買掛金が363百万円、未払金が147百万円、未払費用が124百万円とそれぞれ増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ６百万円減少の1,187百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が38百万円減少したこと、利益剰余金が31百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ304百万円増加し、984百万円となりました。当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、523百万円（前年同期は505百万円の収入）となりました。これは主に、仕入債務の増加、税金等調整前四半期純利益等の資金増加要因が売上債権の増加、棚卸資産の増加等の資金減少要因を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、578百万円（前年同期は598百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、369百万円（前年同期は524百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入の収入によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年２月期通期の連結業績予想につきましては、平成27年10月９日に発表いたしました予想から変更はありません。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれております。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成27年２月28日）	当第２四半期連結会計期間 （平成27年８月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	679,860	984,229
売掛金	132,862	525,708
商品	1,966	2,288
原材料及び貯蔵品	84,910	112,687
未収還付法人税等	25,106	527
前払費用	80,395	94,146
繰延税金資産	30,017	25,646
その他	62,947	68,357
貸倒引当金	△107	△1,040
流動資産合計	1,097,960	1,812,551
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,533,405	1,836,155
工具、器具及び備品（純額）	283,654	326,168
リース資産（純額）	213,814	252,707
建設仮勘定	44,067	84,507
その他（純額）	397	215
有形固定資産合計	2,075,338	2,499,754
無形固定資産	29,403	26,931
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
出資金	1,000	1,000
長期前払費用	22,600	26,772
差入保証金	375,998	405,352
繰延税金資産	100,344	92,947
その他	157	42
投資その他の資産合計	500,099	526,114
固定資産合計	2,604,842	3,052,799
資産合計	3,702,802	4,865,351

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成27年２月28日）	当第２四半期連結会計期間 （平成27年８月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	358,156	721,836
1年内返済予定の長期借入金	421,626	407,572
リース債務	64,310	75,279
未払金	164,754	312,201
未払費用	215,671	339,698
未払法人税等	12,097	63,572
未払消費税等	66,803	46,341
前受金	106,215	137,032
その他	31,286	21,557
流動負債合計	1,440,922	2,125,092
固定負債		
長期借入金	771,013	1,232,201
リース債務	173,835	198,219
資産除去債務	82,714	88,892
繰延税金負債	32,953	25,688
その他	7,333	7,333
固定負債合計	1,067,850	1,552,334
負債合計	2,508,773	3,677,426
純資産の部		
株主資本		
資本金	379,605	379,605
資本剰余金	301,808	301,808
利益剰余金	468,496	500,438
自己株式	△31	△72
株主資本合計	1,149,878	1,181,780
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	44,151	6,144
その他の包括利益累計額合計	44,151	6,144
純資産合計	1,194,029	1,187,924
負債純資産合計	3,702,802	4,865,351

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成26年３月１日 至　平成26年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成27年３月１日 至　平成27年８月31日）
売上高	5,622,842	5,780,298
売上原価	1,706,989	1,726,997
売上総利益	3,915,852	4,053,300
販売費及び一般管理費	3,514,524	3,959,809
営業利益	401,328	93,491
営業外収益		
受取利息	287	264
協賛金収入	34,560	54,834
為替差益	4,725	28,458
その他	602	8,062
営業外収益合計	40,175	91,620
営業外費用		
支払利息	9,725	7,949
たな卸資産廃棄損	4,864	－
その他	1,280	1,861
営業外費用合計	15,869	9,810
経常利益	425,633	175,300
特別利益		
固定資産売却益	92	296
特別利益合計	92	296
特別損失		
固定資産除却損	1,145	2,769
減損損失	7,861	17,279
店舗閉鎖損失	－	21,830
特別損失合計	9,006	41,878
税金等調整前四半期純利益	416,719	133,717
法人税、住民税及び事業税	135,125	58,501
法人税等調整額	24,799	4,502
法人税等合計	159,925	63,004
少数株主損益調整前四半期純利益	256,793	70,713
四半期純利益	256,793	70,713

（四半期連結包括利益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成26年３月１日 至　平成26年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成27年３月１日 至　平成27年８月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	256,793	70,713
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△12,004	△38,006
その他の包括利益合計	△12,004	△38,006
四半期包括利益	244,789	32,706
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	244,789	32,706
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成26年３月１日 至　平成26年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成27年３月１日 至　平成27年８月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	416,719	133,717
減価償却費	145,437	202,005
減損損失	7,861	17,279
のれん償却額	2,403	2,831
貸倒引当金の増減額（△は減少）	138	933
受取利息及び受取配当金	△287	△264
支払利息	9,725	7,949
為替差損益（△は益）	△4,725	△28,458
固定資産除却損	1,145	2,769
固定資産売却損益（△は益）	△92	△296
店舗閉鎖損失	－	21,830
売上債権の増減額（△は増加）	△442,059	△392,845
たな卸資産の増減額（△は増加）	△13,137	△28,098
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△12,288	△19,485
仕入債務の増減額（△は減少）	220,549	363,680
未払消費税等の増減額（△は減少）	21,779	△20,461
その他の流動負債の増減額（△は減少）	246,189	251,046
その他の固定負債の増減額（△は減少）	2,720	－
その他	378	1,042
小計	602,458	515,175
利息及び配当金の受取額	287	264
利息の支払額	△9,117	△8,371
法人税等の支払額	△88,245	△3,354
法人税等の還付額	－	19,696
営業活動によるキャッシュ・フロー	505,382	523,409
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△579,254	△538,253
有形固定資産の売却による収入	92	497
無形固定資産の取得による支出	△850	－
貸付金の回収による収入	642	114
差入保証金の差入による支出	△20,573	△41,106
差入保証金の回収による収入	2,541	－
その他	△1,145	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△598,546	△578,748
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	30,000	70,000
短期借入金の返済による支出	－	△70,000
長期借入れによる収入	734,000	674,000
長期借入金の返済による支出	△176,100	△226,866
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△32,891	△38,728
自己株式の取得による支出	－	△40
配当金の支払額	△30,032	△38,597
財務活動によるキャッシュ・フロー	524,975	369,767
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,278	△10,059
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	424,533	304,369
現金及び現金同等物の期首残高	619,569	679,860
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,044,103	984,229

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成26年３月１日　至　平成26年８月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	公共施設開発事業	商業店舗開発事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,910,039	3,712,803	5,622,842	－	5,622,842
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	1,910,039	3,712,803	5,622,842	－	5,622,842
セグメント利益又は損失（△）	292,555	440,945	733,501	△332,173	401,328

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△332,173千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２.報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当第２四半期連結累計期間において「商業店舗開発事業」セグメントでは、閉店が予定されている店舗について、7,861千円の減損損失を計上しております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成27年３月１日　至　平成27年８月31日）

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（報告セグメントの変更等に関する事項）

当社グループは、従来「公共施設開発事業」、「商業店舗開発事業」の２事業を報告セグメントとしておりましたが、第１四半期連結累計期間より「飲食事業」の単一セグメントに変更しております。

当社グループでは、「店づくりは街づくり」という基本理念のもと、飲食を通して街の活性化、新しい文化の醸成に貢献するべく事業を展開してまいりましたが、事業拡大に伴い、当社グループの経営資源の配分、経営管理体制の実態等の観点から事業セグメントについて再考した結果、「飲食事業」として当社グループの事業を一体として捉えることが合理的であり、事業セグメントは単一セグメントが適切であると判断したことによるものであります。